

新企画

<支部・準支部だより>

JDSの仲間たち

No.2 宮城仙台支部
(どんぐりの会)

● あゆみ

宮城仙台支部は30年程前に、当時、仙台にお住まいだった現代表理事の玉井邦夫ご夫妻が「ダウン症の乳幼児をもつ親の会」として会を立ち上げられたのが始まりです。

その後、1990年に「どんぐりの会」と名称を変え、代表者の玉井ご夫妻が山梨に引っ越されたので、当時の会員が役員となり会の運営を引き継がれました。会員も増え、現在は190家族前後で推移しています。

2006年にはJDSの第6回全国大会が仙台で開催。石巻準支部をはじめ東北の各支部のご協力を得ながら、2年余りの準備期間を経て、2日間にわたり開催。29都道府県から617名が参加という盛大な大会となりました。そのときのつながりや経験がその後の活動にも生かされていると思います。

2011年の東日本大震災では多くの会員が被災し、避難生活等、大変苦しい状況となりました。支部としては、会員の被害状況を把握するために、全家庭にハガキでアンケートを実施し、生の声が届きました。

そんな中、JDSより被災地の会員に対して寄付金が届けられ、皆様の厚意に大いに励まされました。この場をお借りし全国のJDS会員の皆様に改めまして感謝申し上げます。

● 活動

定期の活動としては、主に、乳幼児の親子を対象とした「キッズパワー」というサークルや赤ちゃん体操、就学を控えた親ごさん向けの就学相談会、広い年齢層で楽しめるクリスマス会などがあります。それぞれの年齢に応じた支援活動を行うとともに、親ごさんたちの情報交換の場を提供しています。

そのほか、シンポジウムや講演会、勉強会等も随時行っています。昨年度はJDSの相談員研修会でもお話をされた佐藤功一先生の講演会を実施し、定員いっぱいの300名の参加となりました。参加者が、会員や保護者だけでなく、学校の先生方や施設の職員の方々といった、支援してくださっている方々が半数以上だったことは、特筆すべき点でした。今年度は玉井代表理事をお招きしての勉強会を予定しています。

● 支部長より



みのり
武田 美法

今回の原稿を書くにあたり、現役員も昔のことはよく知らなかったもので、先輩役員の方々にお尋ねしました。会の歴史を初めて知って、驚いたり（特に創設者が玉井ご夫婦だったとはビックリ!）、感動したり（設立当時から関わってこられた島田さんが保管されていた貴重な支部の会報を1号から寄贈していただきました!）。先輩方が一つひとつ積み重ねてこられたこうした努力のおかげで、現在の恵まれた環境が整ってきたことを、改めてありがたいと痛感しました。私たちも、さらに子どもたちにとって生きやすい環境をつくるために頑張りたいと、思いを新たにしました。

- ◆ 支部長：武田 美法
- ◆ 支部会員：73 家族
- ◆ 設立：1986年4月
- ◆ 対象地域：宮城県仙台市と周辺の市町村
(希望があれば他地域からの参加も可)
- ◆ ご本人の年齢：0歳～34歳
- ◆ 連絡先：メール／donguritake@yahoo.co.jp
電話&FAX／022-307-6777(武田)



立場の異なる先輩お母さんたちから話を聞く就学相談会

10月号以降に登場していただける支部・準支部を募集中